

212-(22)

# 姫路城天守 沿華時有銘 鬼瓦拓本集

(一部無銘 付 隅木蓋瓦)

## 内容目次

NO	歴年	位置	名称	記	事
1	寛保2年	4重 脊 千鳥破風	棟 鬼	左側面主簷彫「寛保二年六月十日」右側面「尾形棟梁九左」也州八印作之	20 明 43 津 2重 西面南側 隅 鬼
2	文政10年	5重 東 面	全	左側面主簷彫「文政十年三月日」右側面「丸工大古瀬市左衛門義種造之同	4重 北面 傷破風 西側下、棟1ヶ。3重 南面 東側 千鳥破風 下、棟2ヶ、全 北面 東側 千鳥下棟1ヶ、全 西側 全2ヶ
3	明治43年	3重 千鳥破風	全	男義助 義信」 紋 劍 酸 漿 姫龍四瓦市 刻印 付 鬼瓦 全品	1重 西面 千鳥破風 下、棟2ヶ 計 8ヶ 下、棟 鬼瓦 全品 使用
4	大正8年	4重 千鳥破風	全	右側面主簷彫「大正八年九月」	21 全品 3重 脊 北側 隅 鬼
5	跡(本)	5重 脊 東側下	棟 鬼	紋 源氏 車 無銘 形態 様形 の 当初 形 か 四角 に 移行 寸	3重 東面 南側、西面 南北側、2重 西面 北側、1重 西面 南北 中央 隅 鬼 の 計 7ヶ 鬼瓦 は
6	寛保2年	4重 千鳥破風	全	左側面主簷彫「尾形棟梁九左」紋 江 戸 桐 (立 体 感 有 る 美 観 桐)	姫龍四瓦市 刻印 付 紋 江 戸 桐 (唯 一 の 凹 桐)
7	全	1 西 全	全	西面主簷彫「棟梁市左衛門」紋 江 戸 桐 (全 上)	3重 東面 南側、西面 南北側、2重 西面 北側、1重 西面 南北 中央 隅 鬼 の 計 7ヶ 鬼瓦 は
8	文化5年	3重 北面 東側	全	右側面主簷彫「文化五年辰八月」右側面「尾形精忠堂大古瀬市左衛門義種造之」紋 劍 酸 漿	22 慶 長 隅 木 蓋 瓦
9	文政6年	4重 南 千鳥破風	全	全「尾形六十年六月日」右側面「丸工大古瀬市左衛門義種造之」紋 劍 酸 漿	23 全
10	嘉永6年	2重 南 千鳥破風	全	下面横彫「嘉永六年九月貞助」紋 劍 酸 漿	24 明 43-44 全
11	安政5年	4重 北 千鳥破風	全	背面主簷彫「安政五年七月七日」大古瀬市左」紋 全 上	断面 判定 によ り と 当初 瓦 上 全 断 (且 該 所 の 塗 土 は 当初 壁 上 有 る)
12	明 43 年	3重 南 千鳥破風	全	神瓦 刻印 付 足 棟 鬼 型 紋 5 (意味 不明 の 出来 全 品)	明 治 四 十 三 年 製 作 刻 印 付
13	寛保2年	5重 脊 南側	隅 鬼	右側面主簷彫「寛保二年六月十日」尾形棟梁市左衛門	
14	全品	1 北側	全	無 銘	
15	全品	4重 南側	全	無 銘	
16	全品	1 脊	全	右側面主簷彫「尾形棟梁九左」	
17	全	2重 南側	全	左側面主簷彫「寛保二年六月十日」右側面「尾形棟梁九左」	
18	安政5年	4重 南 千鳥破風	全	右側面主簷彫「安政五年九月」新大古瀬氏他	
19	全品	1 東面	全	無 銘	